

# バックスマーシュ・グラマー校へ

国際化時代に生きる人材育成を目的として平成8年度から始まった本町の海外派遣事業も今回で17回目を迎えました。夏休み期間を利用して、菊陽中学校と武蔵ヶ丘中学校から6人ずつ計12人の生徒が7月21日から8月3日までの2週間、オーストラリアに派遣されました。現地ではバックスマーシュ・グラマー校の授業に参加し、9日間のホームステイを体験しました。生徒たちは、外国での生活を通して、日本では得ることのできない貴重な体験ができ、また新たな目標ができたようです。



## 伝えようと努力する大切さ

今回のオーストラリアへのホームステイで僕は良い経験ができたと思います。自分の英語で、ホストファミリーへ伝えるの不安な中で始まったホームステイ。しかし、ホストファミリーは理解しようと温かく聞いてくださり、伝わった時には、とてもうれしかったです。二週間という短い期間でしたが、伝えようと努力する大切さなど学ぶことができたことを今後の生活に生かしていきたいです。



菊陽中学校 牧野 平良さん

## 感謝の気持ちを伝える大切さ

私がこのオーストラリアのホームステイで感じたことは、感謝の気持ちを持つ大切さです。なぜなら、このホームステイは多くの人のおかげで行かせてもらえましたし、こんなに楽しいホームステイができたのは、週末にフリップ島に連れて行ってくださったり、買い物したり、いろんな体験をさせてくれたホストファミリーのおかげからです。私は今まで素直に感謝の気持ちを伝えられていませんでした。これからは素直に伝えるように頑張ろうと思います。



菊陽中学校 世古 雅琴さん

## 肌で感じた文化の違い

今回のオーストラリアのホームステイでは、「英語力」「積極性」「日本との文化の違い」を学び、身に付けることができました。最初は、ジェスチャーや表情だけで話をしていましたが、日がたつにつれて英文も長くなり、しっかりと会話ができるようになりました。また、オーストラリアでは、日本と違い、山や森林が少なく平野が広がっていました。食文化も肉中心の料理が多く、驚きました。この事業を通していろいろなことを目で見えて感じる事ができたので良い経験として心に残りました。



菊陽中学校 森 太成さん

## これからの生活に生かしたい

私は海外派遣事業に参加して、日本では絶対に経験できない体験をたくさんしました。最初は、相手に自分の気持ちをうまく伝えることが少し難しかったけど、次第に会話をするコツが分かかってジェスチャーなどを使いながら話すことができました。ホストファミリーはとても明るくて、話しやすい家族でした。外国の人たちとのコミュニケーションは大切だと感じました。これらの経験を今後の勉強や生活にも生かしていきたいと思っています。



菊陽中学校 矢野 里奈さん

## 優しさに触れ充実した二週間

海外派遣事業に参加して、英会話の楽しさや難しさが分かりました。現地の人々の優しさもあり、とても充実した二週間を過ごすことができました。オーストラリアの風景は、ずっと奥まで続く遊牧地や、高いビルが建ち並ぶ所などがありました。どちらも日本に比べるととても大きく、驚きました。ホームステイ先や現地の学校生活も日本とは異なり、毎日がわくわくしていました。今回、行かせていただいた良かったです。ありがとうございます。



菊陽中学校

## もっと勉強し再び訪れたい

僕は夏休みの海外派遣事業に参加しました。この事業で僕は、貴重な経験をしました。ホームステイでは、自分の英語が通じるのかとても不安でしたが、自分の英語が伝わったときは、とてもうれしかったです。ホストファミリーには、とても親切にしてくださいました。学校でもみんなフレンドリーに話しかけてくれて友達もできました。これから英語をもっと勉強して、またオーストラリアに行きたいです。



菊陽中学校 田口 諒さん

## 伝えようとする気持ちが大切

私はこの二週間で、まず自分の英語は、まだ努力が必要だと思いました。英語には自信がありませんでしたが、なかなか伝わらなくて、特に幼い子の言っていることが分からなかったときは、とてもショックでした。しかし、がむしゃらに単語を並べていたら、少し会話らしいものができました。難しい文法なんか知らなくても、とにかくコミュニケーションを取ろうという気持ちが大切だと思いました。これからもっと英語を勉強して、もう一度ホストファミリーに会いたいです。



武蔵ヶ丘中学校 長友 彩香さん

## 自分の思いを伝える大切さ

私はこの二週間で貴重な体験ができました。ホームステイ先では身の回りが全て英語になり、不安もありました。しかし、会話の中で分からない単語があったり、自分から話しかけた時に言葉が返ってきたりしたときは、とてもうれしく自信となりました。自分の思いを伝えることは大切なんだと思いました。オペラハウスやセントパトリック大聖堂などに行き、オーストラリアを満喫することができ良かったです。たくさんさんの経験と思い出を作ることができました。



武蔵ヶ丘中学校 水本 佳那さん

## 伝わるときの喜びは大きい

私は海外に行つて英語で話す事の楽しさを感じました。最初、英語を聞いただけで頭が真っ白になって話す事はできませんでしたが、しかし慣れてくるうちに、ジェスチャー交じりですが自分から話せるようになりました。ホストファミリーも私に分らないときは、ジェスチャーなどで分かるように頑張ってくださいました。また、お互いに伝わらない事が伝わる時の喜びは大きかったです。この喜びを無駄にせず伝えたいという気持ちを大切にしたいです。



武蔵ヶ丘中学校 那須野 綸さん

## 人の優しさに触れた二週間

私は海外派遣事業に参加して、たくさんさんの経験をする事ができました。初めはとても不安でしたが、とても優しくすぐに現地での生活になじむことができました。長い間を過ぎていききました。このたくさんさんの経験の中で学んだことを次に生かして頑張りたいです。最後に、今回お世話になったホストファミリーや引率の先生たち、現地の学校などで出会った人々に感謝しています。本当にありがとうございました。



武蔵ヶ丘中学校 福島 さくらさん

## 積極的に行動する大切さ

私はこの二週間で日本では体験することができませんでした。言葉や生活、文化の違いに慣れず、とても苦労しました。あまりうまくない英語を一生懸命に話し、伝わった時はとてもうれしかったです。積極的に話してみることが友達になりました。自分のやりたいことができたこともありました。今回この事業に参加したことで、もっと外国の事を知りたい、英語を学びたいと思うようになりました。この経験をしっかりと今後に生かしていきます。



武蔵ヶ丘中学校 日高 菜瑠実さん

## 優しかったホストファミリー

私はオーストラリアに行き、とても貴重な経験をすることができました。その中で、ホームステイをしたことが特に心に残っています。ホストファミリーはとても優しく、分からないことも分かりやすいように言い変えてくれたので不安も消えました。初めは英語が早くて聞き取れませんが、だんだん慣れて最後には聞き直すこともあまりありませんでした。今後はもっと英語を勉強して、またホストファミリーに会って話したいです。



武蔵ヶ丘中学校 井瀬 茉綺さん

※名前と写真は本人の希望により掲載しておりません。